



令和5年度 学校便り

令和5年9月29日

# 鹿本だより10月

江戸川区立鹿本小学校長 奥村 孝史

## 秋の夜長を楽しむ

校長 奥村 孝史

こじかフェスタには大勢の方にご来校いただきありがとうございました。久しぶりに飲食ありのお祭りに、子供たちは大満足の様子でした。企画・準備、当日の運営と多くの方のご協力で大盛況となりました。ありがとうございました。

さて、秋霖が終わって天気図から秋雨前線が消えればいよいよ秋本番です。空気が澄む秋は天体観測に最適な季節です。都会では光が多く星空を見るにも光害の影響が出てしまいますが、9月から11月にかけて見やすい位置になる「秋の星座」には、秋の四辺形やオリオン座流星群など見逃せない星が登場します。

都市化で星が見えにくくなり、時間に追われると夜空を見上げることも、天体への興味をもつ機会も少ないのですが、親子で星を眺めながら限りなく広がる宇宙に思いを馳せるひとは忘れ難い思い出です。近年は、天体望遠鏡やプラネタリウムだけでなく、コンピュータシミュレーションなど様々な手段で、天体観測や宇宙を旅することができるなど、秋の夜長の楽しみも多様です。夜空に天高く駆けるペガサスやアンドロメダなど、ギリシャ神話でお馴染みの星座たちを見付け、神々と人間が織りなす壮大なギリシャ神話の世界に浸るのもよいと思います。この有名な物語に登場する4つの星による四角形を「秋の四辺形」と呼び、秋の星座ガイド役となりますが、「タイタンの戦い」など神話を新たなストーリーにして映画化した作品も多く、興味は尽きません。秋の夜長は流れ星のように過ぎてしまいそうです。

また、秋の夜長の楽しみといえば、忘れてはいけないのが読書です。読書が子供たちの成長に大変効果的であるということを疑う人はないと思いますが、作家の赤川次郎氏によると、読書はまだ子供たちが経験していないことを先に間接的に経験をさせてくれ、いわゆる免疫をつけてくれているということだそうです。これからの人生の中で困難にぶつかった時に、困難に対する免疫があれば最悪を回避することができると思っています。さらに、読んだ本は自分の足元に積まれていき、読めば読むほど足元が高くなり、それと同時に自分の目線も高くなってきます。今まで見えなかった景色が見え、遠く先の事まで見通せるようになるということです。

さらに本を読むことで、社会を広げ年齢差や国や性別を超えた人の考えや気持ちに共感することができ、人に対する思いやりや優しさが育ってくるとも考えられています。ぜひ、秋の夜長にテレビを消してゲームをやめて、家族で読書タイムというのはいかがでしょうか。



### ●10月の目標

#### 生活目標「時間のけじめをつけよう」

- ・登下校や休み時間、朝会などの時刻を守る。
- ・掃除は分担して時間内に終える。

#### 保健目標「目を大切にしよう」

- ・姿勢に気を付けて、本やノートからパー2個分離す。
- ・ゲームの時間を決める。
- ・睡眠をしっかりとり遠くの景色を眺めたりして、目を休める。

#### 給食目標「体の調子が良くなるように考えて食べよう」

- ・苦手な食べ物でも食べる努力をする。
- ・野菜をたくさん食べる。

### ●10月の生活指導

登校時間は、8時5分から8時20分になっています。開門前に到着し、正門の前で門が開くのを待っている子と、ぎりぎりに門をくぐる子がいます。安全確保の上からも、家を出る時刻を調節して、ちょうどよい時間帯に学校に到着できるように、ご協力ください。

(生活指導主任 田口健市)